

|     |   |
|-----|---|
| 会議名 | 第3回厚木市観光振興推進委員会   |
| 日時  | 令和7年3月14日（金）10時～11時   |
| 場所  | アミューあつぎ7階 ルーム703  |
| 出席者 | 出席者 10人<br>厚木市観光振興推進委員会委員5人<br>オブザーバー1人（一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長）<br>事務局3人（商業観光課長、観光振興係長、商業観光課主査） |

会議の経過は次のとおり。

1 開会

商業観光課長

2 案 件

(1) 令和6年度事業の実施状況について

資料1に基づき説明。

【意見等】

事務局：資料の補足として。「県央やまなみガストロノミー」については、本日報道発表を行った。明日3月15日（土）からサイト公開となり、県央やまなみ地域の各地域で親しまれている食をテーマにした情報発信を行う。

(2) 令和7年度事業について

資料2に基づき説明。

【意見等】

事務局：資料の補足として。今月末に開催する「第61回あつぎ飯山桜まつり」については、同時開催として、飯山グラウンドでモルックというニュースポーツ体験と、金剛寺で木造阿弥陀如来坐像という文化財の一般公開を行う。また、例年実施しているさくら輿では外国籍の方に担いでもらうことを企画している。昨今増加しているインバウンド対策にも焦点を当て、桜まつりの盛り上げを図っていく。

委員：体験型のイベントはとても良いと思う。桜まつりでのモルック体験の紹介があったが、他に市で企画するスポーツ体験イベントはあるか。

事務局：令和7年度は荻野運動公園でモルックのジャパンオープンを開催する予定である。スポーツ魅力創造課が所管となるが、年齢を問わず気軽にできるスポーツなので、市としても力をいれてまいりたい。

委員：桜まつりは令和7年度事業として説明があったが、実施日は3月末になっている。令和6年度事業ではないのか。

事務局：桜まつりは年度をまたいで実施する事業となるため、予算を2か年に分けての実施となる。今回は「第61回」としており、お祭りの実施は回数で整理している。

### (3) 観光振興に係る意見交換について

事務局：今後の鮎まつりの開催時期や内容等について、広く意見を収集し参考とするため、令和7年2月1日（土）から3月3日（月）までの期間でアンケートを実施した。市民、協賛者、実行委員会を対象としており、各対象に合わせた内容で質問をしている。現在アンケート結果を集計中であり、結果については4月以降に公開する予定である。

委員：集計した結果を分析して、今後の鮎まつりに生かして欲しい。その際、子どもや高齢者、基礎疾患を持っている方といった社会的に脆弱なカテゴリーに属する方々の意見については、特に重視する必要があるだろう。

委員：昨今の暑さを鑑みると、夏の開催は避けた方がよい。仮にこれまでと同時期に実施するのであれば、暑さが和らぐ時間帯にイベントを移動させる等の工夫が必要だと思う。

事務局：昨年の第78回鮎まつりでは、暑熱対策として主催者イベントを実施しないクーリングタイムを設けたほか、市内5箇所での気温の計測も行った。計測の結果、暑さ指数35度に至る所はなかったものの、11時から正午までが最も気温が高く、15時くらいになると暑さが和らいでいた。暑さが厳しい時間帯を避けてイベントを実施することも検討する。

委員：令和6年度で中町の大型バス発着場が閉鎖すると聞いているが、代わりに別の発着場が用意されるのか。

事務局：市の課題として自覚するに留まっており、現時点で新しく発着場を用意する話はない。

委員：現庁舎の跡地の利用方法は決まったのか。観光振興を盛り上げていこうという機運の中、観光バスが市街地に来ることができないのは大きな打撃である。新庁舎移転後、現庁舎の場所に発着場を作る等の検討をしても良いではないか。

### 3 その他

現在の委員の任期は令和7年5月までとなっており、会議の開催としては今回が最後となる。委員の皆様には本市の観光振興に対し、毎回大変貴重な御意見をいただき感謝している。

新委員の応募について、公募委員については広報あつぎ3月15日号に掲載済み、団体からの選出委員については改めて各選出母体へ委員の推薦依頼をさせていただく。

### 4 閉 会